

Profile



野木 秀子 (のぎ ひでこ) (旧姓 井上)  
県立生野高校 (19期)  
京都教育大学 (専攻物理学) 卒  
日立製作所システム開発研究所 入社 (女性エンジニア先駆け)  
(元) 株 (CIJ) 副社長 (元) 早稲田大学、神奈川工科大学 客員教授  
(元) 横浜市教育委員 (現) JIET (日本情報技術取引所) 副理事長  
(現) キャリア研究会 (女性のネットワーク) 会長 など

がんばる

同郷会・同窓会の

世話役のご紹介

かんとうぎんれいかい

関東銀嶺会

(生野高校)

われら

ひょうご人

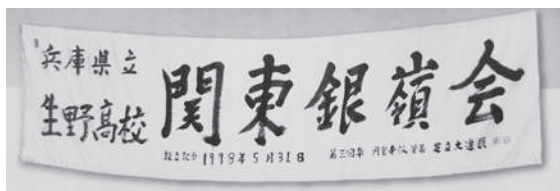
このコーナーでは、首都圏で同郷会や同窓会の世話役をされている方の活躍をご紹介いたします。今回は、関東銀嶺会会長 野木 秀子さんからお話をお伺いしました。

関東銀嶺会の概要を教えてください。

兵庫県立生野高等学校関東地区の同窓会を、関東銀嶺会といます。よく考えたら、結構恐ろしい名前ですが、これは、母校のある生野が、生野銀山(大同2年(807年)開坑)で栄えていたところなので、銀の嶺というところから取ったもの。天領として栄え、明治維新後は三菱に払い下げられた歴史ある場所です。

写真の同窓会の横断幕は、鎌倉円覚寺元管長、足立大進老師(3期生、R2年2月没)の揮毫によるものです。

高校は大正2年、生野町立生野実科女学校として創立。その後改名などありましたが、昭和23年学制改革などにより、男女共学の兵庫県立生野高等学校となりました。



足立大進円覚寺元管長による揮毫

た。平成25年には、創立100周年記念行事を挙行、今年には、創立108年目になります。卒業生は約2万人となります。

関東銀嶺会は、平成10年、古谷利男(1期生、H30年9月没 大同特殊鋼(株))を初代会長として設立されました。その後、平成20年に、白瀧康次(10期生 三菱重工(株))、平成27年に森田信吾(15期生 (株)富士銀行)、平成30年、私 野木(19期生)が会長を引き継ぎました。会員は当初800名くらいでしたが、今は600名程度。実際に活動しているのは100名くらいでしょうか。会員数は減少、個人情報保護法の関係で若い方々の情報が得られないのが痛いところです。

関東銀嶺会の活動についてお聞かせください。

毎年1回、6月に総会を開催しています。会場は最近日立目白クラブ。都の指定文化財です。昨年はコロナの影響で、残念ながら中止になりました。今年は、23回目になりますが、日立目白クラブでなく、神戸大学の東京六甲クラブをお借りして、6月19日、オンライン開催

を予定しています（本誌がお手元に届くときはたぶん開催後と思います）。講師には、27期卒業生で、現在、イタリアクレモナにてバイオリンなどの弦楽器の製作を手掛ける松下さんをお願いしています。ハイブリッド開催になるので、うまくできるか、不安ですが、頑張ります。

昨年のコロナ以降、リアルで会えなくなりましたので、幹事会はすべてオンラインにし、また、オンラインつながりミーティングというものを、同窓会関係者に対して開催しています。今まで、練習含め、10回開催しました。関東だけでなく、全国、いや全世界レベルで行っています。参加者は10〜20名くらいですが、少しずつ根付いているような気がします。

その他、ゴルフコンペは、長年続いています。また、ちょっとした集まりを企画し始めていたのですが、コロナにより、実現は遠のいています。

### 関東銀嶺会に関わったきっかけを教えてください。

私は大学卒業と同時に横浜に来ましたが、このような集いがあることは全く知りませんでした。郷里に住み、東京にビジネス展開していた友人からお声がけいただいたのがきっかけですが、素晴らしい先輩方が多くいらしたので、びっくりしました。

### 故郷での思い出をお聞かせください。

同郷の著名人としては、評論家の竹村健一さんがい



2019年総会の様子（日立目白クラブ）

らっしゃいます。高校生の時、竹村健一さんが学校に来られ講演されました。先輩であること、第1号フルブライト奨学生であったことを知りました。そして、生前、箱根の別荘に伺ったこと、ラジオ番組で一緒に過ごさせていただいたことを思い出しました。同窓会にもよく参加していただきました。私は団塊の世代で、家が貧しく、女だし、現役で国公立でないといけないという事情があり、それこそ勉強、勉強の高校生で、竹村健一さんのことは、励みになりました。

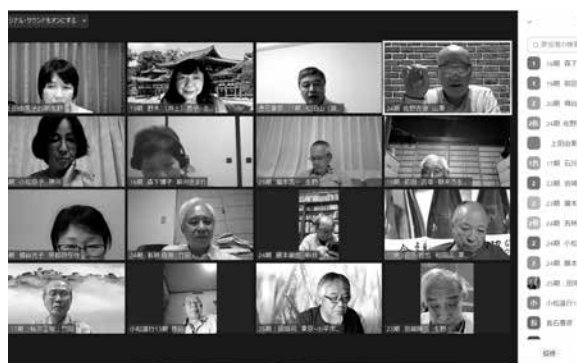
### 関東銀嶺会の皆さまへメッセージをお願いします。

私が在籍していた昭和40年ごろは、全校生約1000名近くいたと思います。

駅伝の名門校として、また野球も県の大会を生野で実施と、三菱金属工業がスポンサーとして、非常ににぎわっていました。昭和48年の閉坑、少子化で、現在は1学年2クラスの6クラス、定員割れと聞いています。しかし、先生、皆様方のご努力により、ユニークさを出されています。観光・グローバル類型、地域探求類型の学科編成、国際交流への注力など、様々な活動は、地域だからこそできるものが多くあります。IT化を進め、地方ならではの特色を生かした取り組みは必ずできると思っています。関東銀嶺会の皆様、ぜひ、コロナがあげたら、



2019年総会時の集合写真（日立目白クラブ）



2021年5月9日のオンラインつながりミーティング

郷里の生野銀山、竹田城などへ行くようではありませんか。そして、オンラインでの交流も発展的に続けていきたいと思います。ご協力よろしく申し上げます。以上

どうもありがとうございました。

●連絡先  
関東銀嶺会事務局

〒211-0053  
神奈川県川崎市中原区上小田中2-20-20  
(事務局長 藤本 徹郎 気付)  
TEL : 044-755-3091  
E-mail : info.k.ginrei@gmail.com  
HP : <http://kanto-ginrei.sakura.ne.jp/>



# 「がんを知ろう」 女性乳腺外科医からのメッセージ

昭和大学病院乳腺外科教授

あかし さだこ  
**明石 定子**

## ■予防できる癌もある

日本人の2人に1人が癌に罹患する時代になりました。男性の場合は65・5%と、3人に2人の割合です。女性も半数が癌になっています。

予防はできるのででしょうか。まずは、発生原因を知る必要があります。

癌は実は、生活習慣に非常に関連がある病気です。喫煙は男性の癌の3割、女性の癌の5%に関連しているとされています。肺癌、食道癌、咽頭癌に関連性があります。

飲酒も関連しています。度数の高いお酒を飲んだ場所で炎症が起きます。口腔癌、咽頭癌、食道癌が発生します。大腸癌や肝臓癌、乳癌も飲酒と関連すると言われています。

また、肥満が食道癌、肝臓癌、膵臓癌などいくつかの癌を増やすことも分かっています。反対に、適切な運動は大腸癌、閉経後の乳癌、子宮

体癌などの発生を抑制します。具体的には、歩行など軽い運動を毎日60分以上、息が弾み汗をかく程度の運動を週に60分程度行うと良いでしょう。つまり、食生活の見直し、適正体重の維持、運動—といった、一般的に「体に良い」とされることが、癌の抑制につながるのです。

## ■ウイルス性、遺伝性のものも

ウイルス感染による癌、遺伝性の癌もあります。ウイルス性の癌には肝臓癌、胃癌、子宮頸癌などがあります。今は薬の発達によりウイルスを随分コントロールできるようなったので、こういった癌は今後減っていくと考えられますが、子宮頸癌については日本では副作用の訴訟が起こって広く実施されていません。世界的には子宮頸癌は撲滅されていくはずですが、日本では減らな



い可能性があります。

遺伝性のものについては、米女優のアンジェリーナ・ジョリーさんが「遺伝性乳癌卵巣癌症候群」であると

して、予防的に乳房と卵巣を切除して話題になりましたね。遺伝情報は変えられませんが、対応は可能であるということなのです。

## ■増え続ける乳癌

乳癌の罹患者が増え続けています。多くの癌の罹患者は年齢が上がるにつれて増えますが、乳癌の場合は40代後半と60代での発症が多く、働き盛りで発症する—という特徴があります。著名人が若くして亡くなったことで悪い癌だと危険視されることがありますが、実は早期発見されれば生存率が高いのです。

病巣が2センチ以下でリンパ節移転のない、ステージ1の段階であれば9割治ります。ステージ2でも8割治ります。ただ、かかる人が多いので、亡くなる人も多く感じられます。年間9万人の人がかかっている



ので、そのうちの1割でも9千人。膀胱癌であれば、かかる人自体が数千人です。

ぜひ、検診を受けてください。自分でしこりに気付いた場合は2センチ以上になっていることが多いものの、検診ならもっと小さい段階で見つけられます。

また、乳癌も生活習慣を見直すことでリスクを減らすことができます。閉経後の肥満は、確実にリスクを高めます。喫煙、受動喫煙もリスクを高めます。1日1時間程度のジョギングを毎日行うことで、リスクを10%程度減らせることが分かっています。閉経後の場合、特に効果はつきり出ています。

#### ■癌だと診断されたら

驚いて仕事を辞める人がいますが、もったいない。慌てず考え直してください。仕事を続けながら通院、治療している人はたくさんいます。男性では14・4万人、女性では18・1万人。仕事を続けていれば「社会とつながっている」という自分の存在意義を感じられるでしょうし、癌のことばかり考えずに済みます。薬にはお金がかかるので、経済的な意義もあります。



意外なことに、何らかの癌と診断されて仕事を辞める人の割合は10年たっても変わっておらず、残念です。2003年と13年のデータを比べると、どちらも依願退職は30%程度、解雇も4%程度と減っていません。早期発見や治療方法の向上で、5年生存率は大きく改善しています。男性は29・5%でしたが最近では6割近く、女性も50%から66%に伸びて

います。もはや、癌イコール死ではないのです。

#### ■ベストな治療とは

標準治療と聞くと、皆さんはどういうイメージを持ちますか？大した治療ではないーと考える方がいると思いますが、ガイドラインに記載されている標準治療というのは、その時点のベストな治療方法として勝ち残った一番生存率の高いものです。保険適用ではなく、自費の高価な治療こそが効く、と考える方もいますが、保険適用にするためにはいくつかの高いハードルをクリアしなければなりません。つまり、その時点で最適な治療方法なのです。

また、インターネット上には癌に関する情報が溢れています。誰が書いたのか分からないものに翻弄されたくないでください。例えば乳がん学会からの情報であれば、学会が名前を背負って出しているものなので、嘘は書きません。正しい根拠にそって、判断してもらいたいと思います。

### ● 講師ご略歴 ●

1965年 姫路生まれ  
1984年 姫路西高等学校卒業  
1990年 東京大学医学部医学科卒業後、同大学医学部附属病院第三外科に入局  
1992年 国立がん研究センター中央病院外科レジデントとしてオペの経験を積み、同乳腺外科専門修練医、乳腺科医員を務める  
2010年 乳腺科病棟医長を務める  
2011年 昭和大学准教授  
2019年 現職

女性外科医をサポートする日本女性外科医会の役員も務める。日本外科学会指導医・専門医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医・評議員・理事、検診マンモグラフィ読影認定医師

#### 【テレビ出演等】

NHK『プロフェッショナル仕事の流儀』(2018)、日本テレビ『世界一受けたい授業』(2018)、テレビ東京『ワールドビジネスサテライト』(2017) など多数



五つ星ひょうご

おいしいひょうごを  
お届けします。

# YAHOO!ショッピング「ひょうごの特産品」



神戸スイーツから山と海の幸、民芸品まで、ひょうご五国の自慢の特産品がお手軽におとりよせできるショッピングサイト。兵庫県庁内に事務所を設置する公益社団法人が運営しています。

ふるさと兵庫の味・物産をご自宅へ産地直送でお届けしますのでぜひご利用ください。

(公社)兵庫県物産協会 TEL: 078-361-8751

## 日本に産経新聞があったよかった

みなさまにそう思っていただけることを信じ、まっすぐに真実を追求してまいりました。これからも世におもねることなく、タブーに挑戦してまいります。一層のご支援を心よりお願い申し上げます。

産経新聞社代表取締役社長

飯塚浩彦 (龍野高校卒)

論説委員長 乾 正人 (甲陽学院高校卒)

編集局編集長 今城敬之 (県立伊丹高校卒)

編集局整理部長 阪本武史 (県立伊丹高校卒)

論説委員 田中規雄 (長田高校卒)

論説委員 内高嗣雅 (加古川東高校卒)

編集局外信部編集委員 名村隆寛 (龍野高校卒)

編集局社会部次長 上塚真由 (甲南女子高校卒)

ニューヨーク支局長 平田雄介 (尼崎緋園高校卒)

夕刊フジ報道部次長 福田哲士 (川西緑台高校卒)

(株)産経新聞出版 書籍編集部編集長 瀬尾友子 (神戸高校卒)

産経新聞開発(株)取締役旅行部長 小谷正幸 (村岡高校卒)

産経新聞



産経電子版 For 産経ID

<https://id.sankei.jp/denshi/>

産経電子版では兵庫県版の紙面もお読みいただけます

お申し込みはWebで

産経新聞 月額税込1,980円

※お申し込みの際は、下記のキャンペーンコードをご記入ください。

15100200



【お問い合わせ】0570-033-433

(受付時間: 10:00~18:00)